

北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（令和6年10月）

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1-①～③、図2～8）

山頂に設置した監視カメラでは、昭和4年火口でごく弱い噴気を観測しました。昭和4年火口でごく弱い噴気を観測した日数は、2021年頃と比べて明瞭に増加していますが、山麓に設置した監視カメラによる観測では、噴気活動に明瞭な活発化は見られていません。

17日に山頂火口原で実施した現地調査及び18日に国土交通省北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、昭和4年火口をはじめとする山頂火口原の各火口の噴気や地熱域等の状況に特段の変化は認められませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図9）

今期間、火山性地震は少なく低調です。地震は山頂火口原浅部で発生しました。火山性微動は観測されていません。

2023年12月から2024年3月頃にかけて、山頂火口原浅部（海拔下1km付近）を震源とする振幅の小さな低周波地震や火山性微動が発生しましたが、その後の地震活動は低調です。

・地殻変動の状況（図10）

GNSS連続観測では、2022年頃から山頂火口原浅部の膨張を示すと考えられるわずかな変化が一部の基線で認められていましたが、2024年1月頃から概ね停滞しています。山頂火口原付近を挟む基線では、長期にわたり断続的に伸びが認められます。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び北海道のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『電子地形図（タイル）』、『数値地図25000（行政界・海岸線）』及び『基盤地図情報』を使用しています。

今回の火山活動解説資料（令和6年11月分）は令和6年12月9日に発表する予定です。

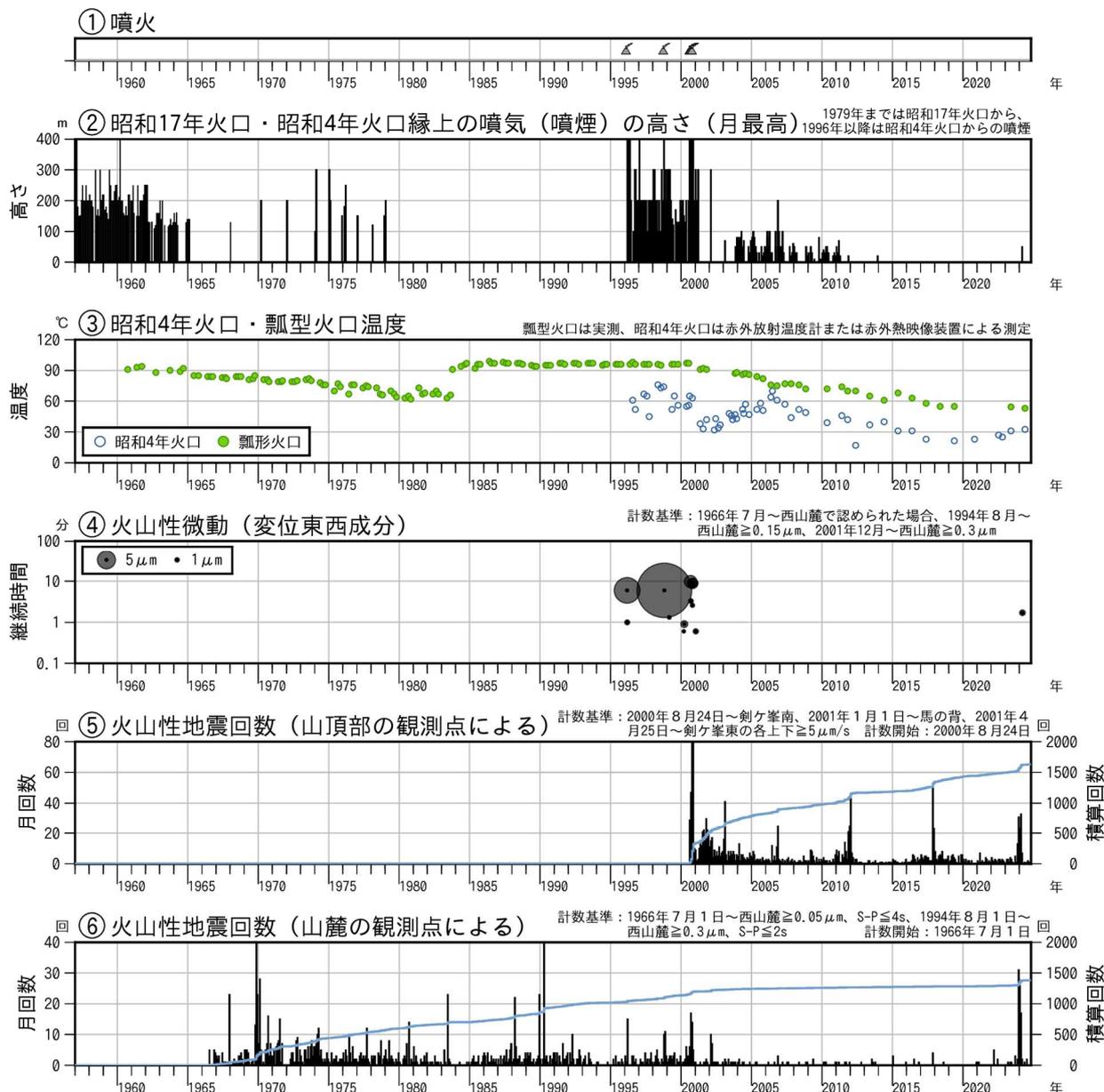


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2024年10月）
各火口の位置は図4、図11を参照してください。

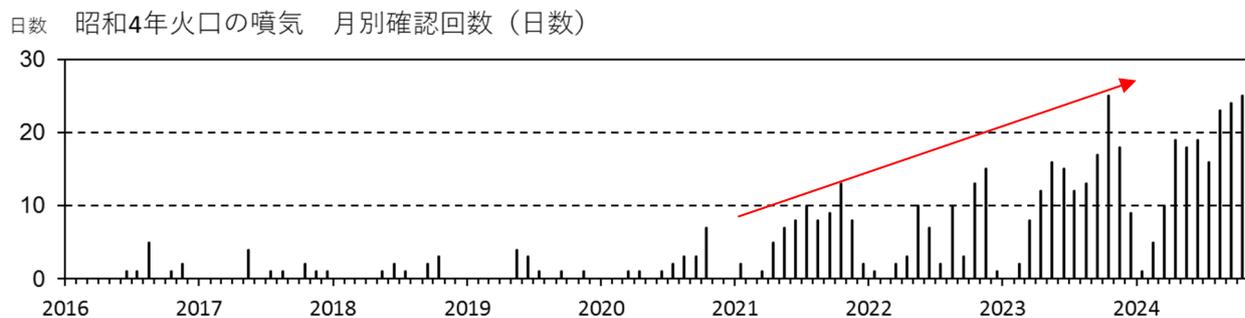


図2 北海道駒ヶ岳 昭和4年火口のごく弱い噴気を観測した日数（2016年1月～2024年10月）
山頂部に設置した剣ヶ峰監視カメラ及び駒ヶ岳山頂（道）監視カメラ（位置は図4、図11、図12参照）による観測結果です。
冬季は雪氷付着のため欠測日が多くなる傾向があります。



図3 北海道駒ヶ岳 南西側から見た昭和4年火口付近の状況 (剣ヶ峰監視カメラによる)

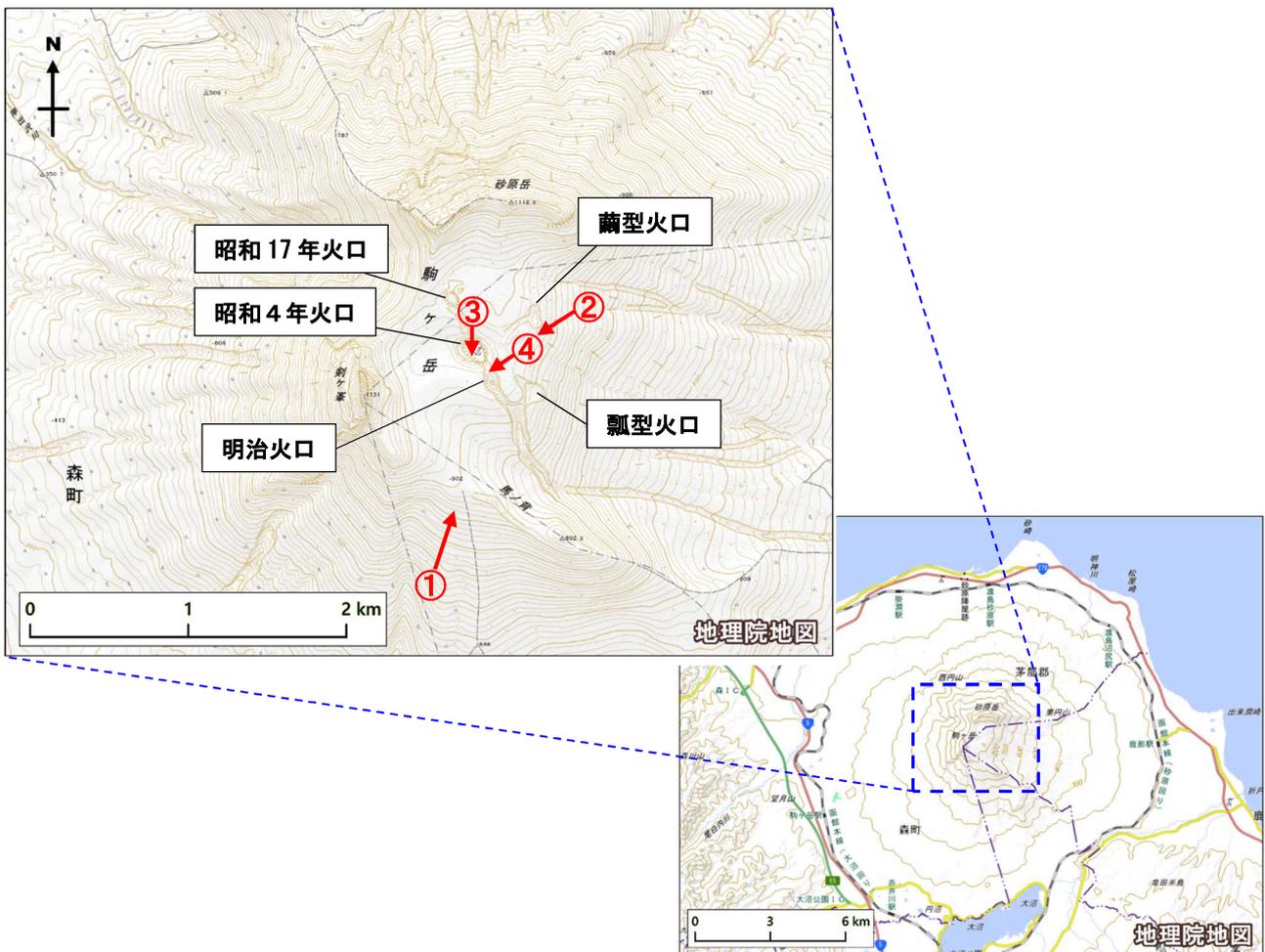


図4 北海道駒ヶ岳 周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向 (矢印)

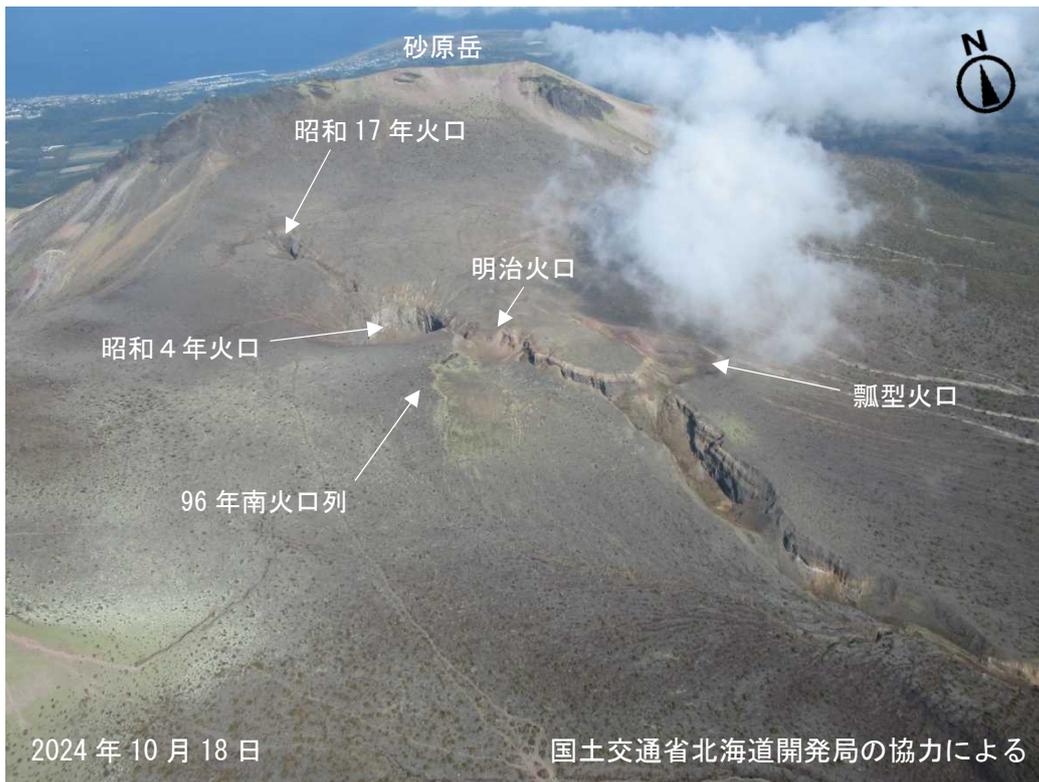


図5 北海道駒ヶ岳 山頂火口原の状況
(南側上空（図4の①）から撮影)

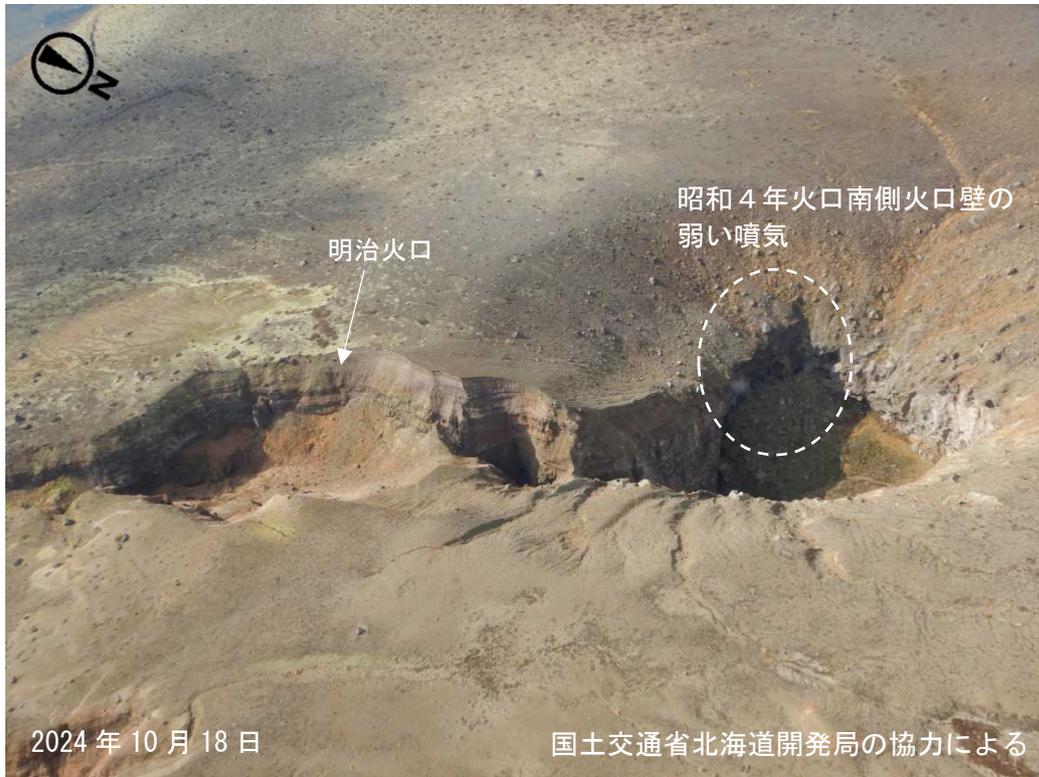


図6 北海道駒ヶ岳 昭和4年火口の状況
(東側上空（図4の②）から撮影)

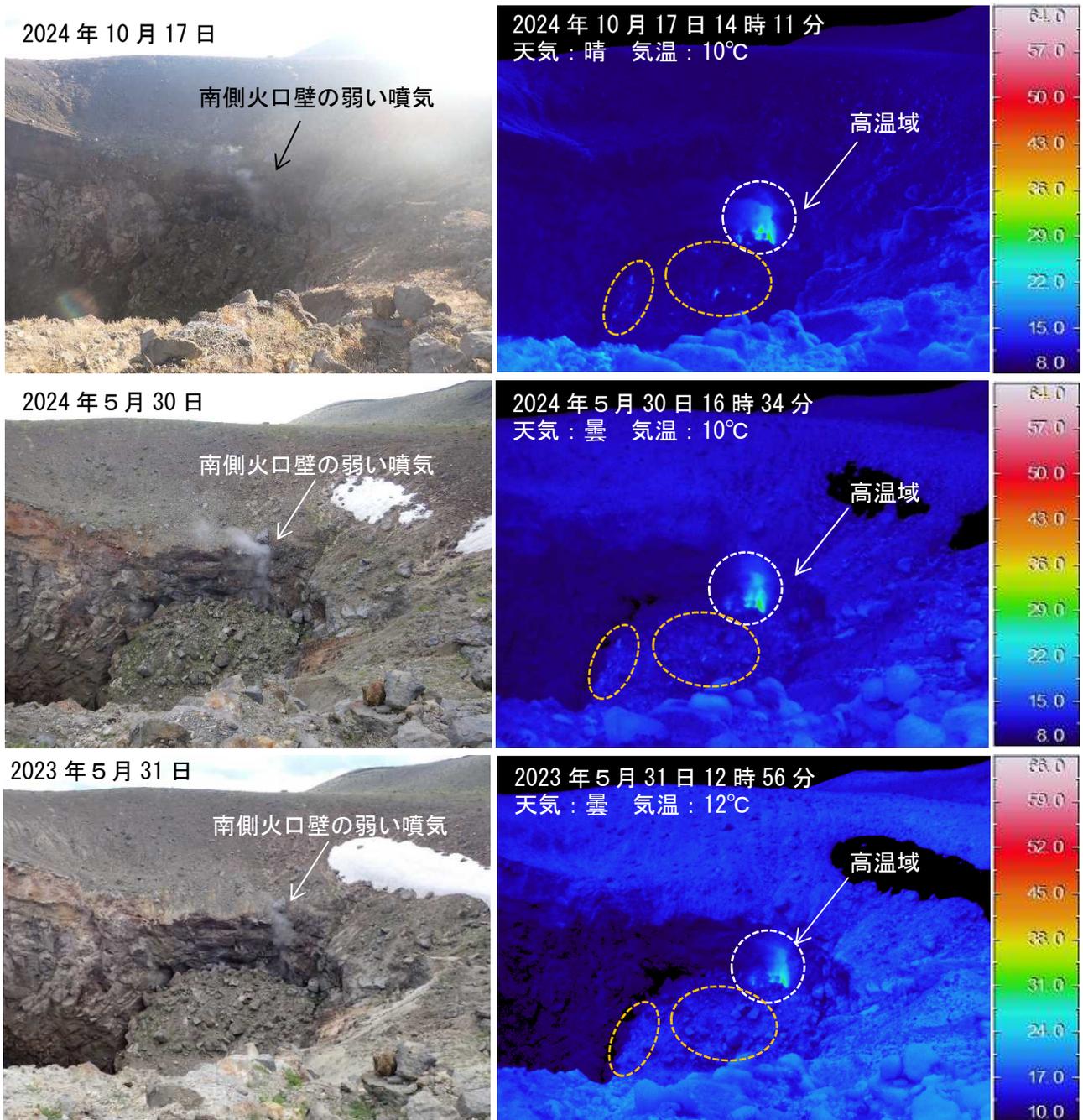


図7 北海道駒ヶ岳 赤外熱映像装置による昭和4年火口の地表面温度分布

(図4の③から撮影)

- ・ 南側火口壁付近からの噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。
- ・ 2023年5月の観測と比べ、局所的にやや温度の高い領域（橙破線内）が複数認められるなど、火口内の地表面温度分布にごくわずかな変化が認められるものの、明瞭な熱活動の高まりは認められていません。

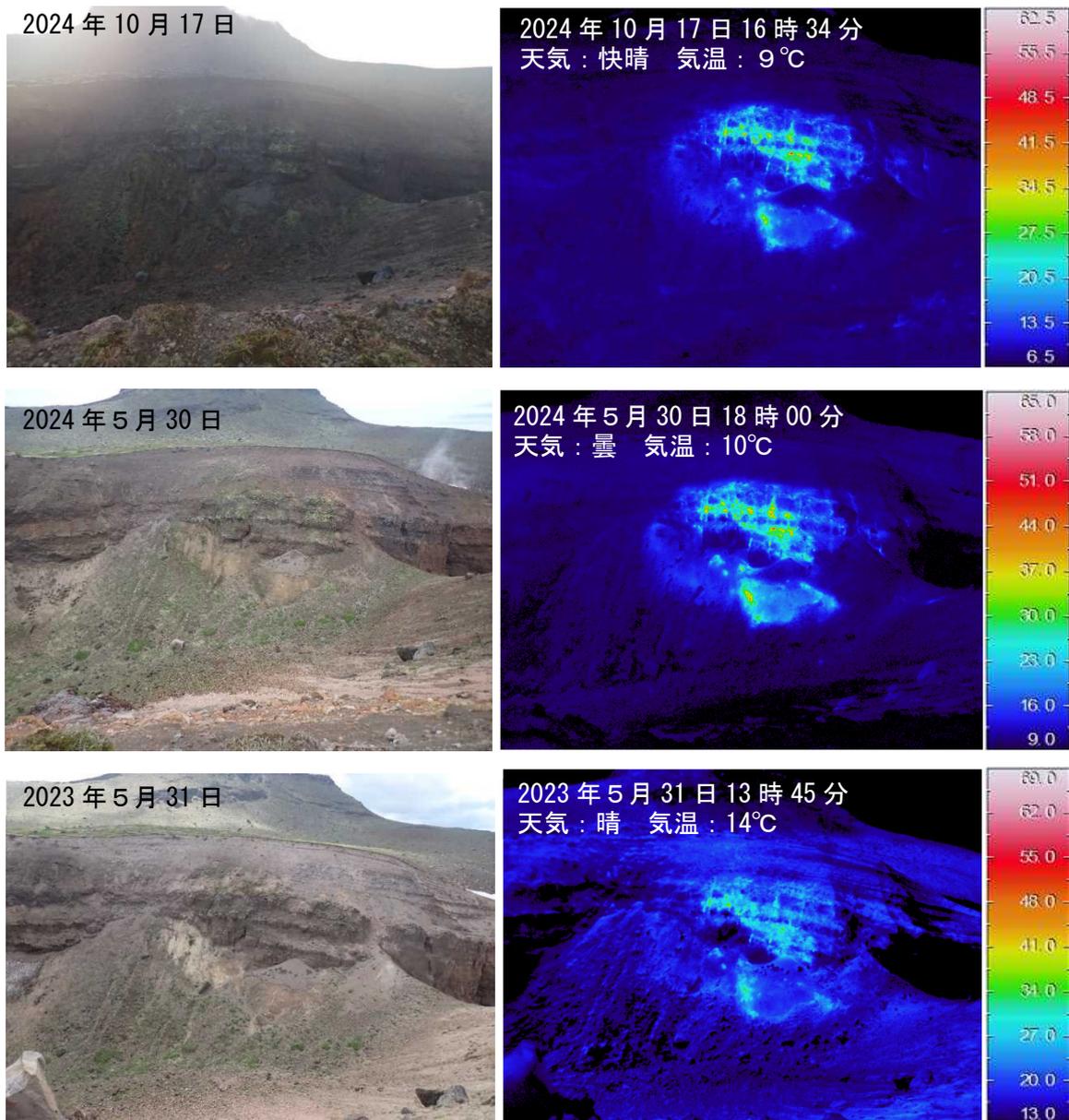


図8 北海道駒ヶ岳 赤外熱映像装置による昭和44年火口の地表面温度分布

（図4の④から撮影）

- ・2024年5月の観測と比べ、噴気活動の状況や地熱域の広がりには特段の変化はありませんでした。
- ・2024年5月の観測と同様に、2023年5月と比べて一部の噴気孔付近でごくわずかに温度が高い状態でしたが、噴気活動の状況や地熱域の広がりには特段の変化はありませんでした。

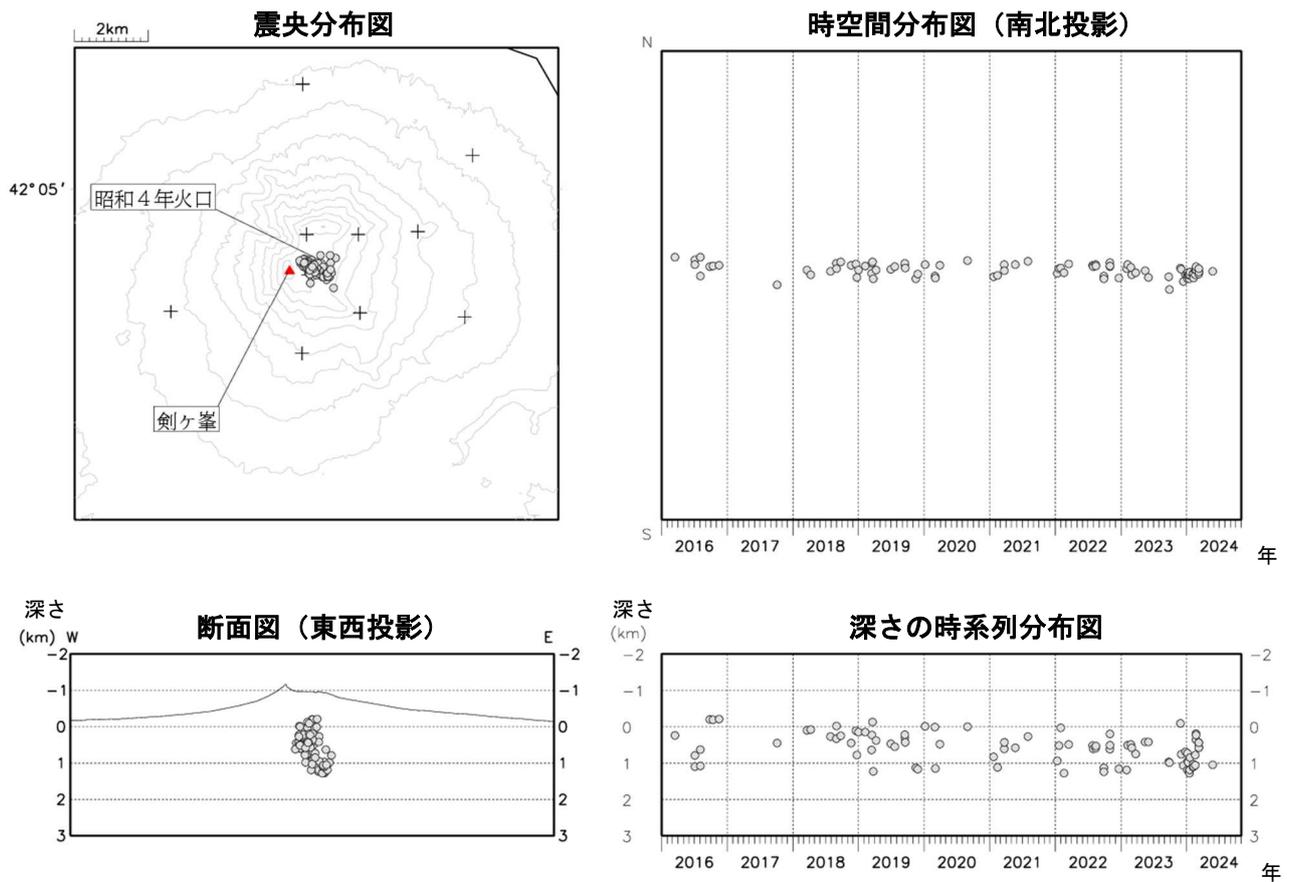


図9 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2016年1月～2024年10月）

●：2016年1月～2024年9月の震源 +：地震観測点

・今期間は震源が求まった地震はありませんでした。

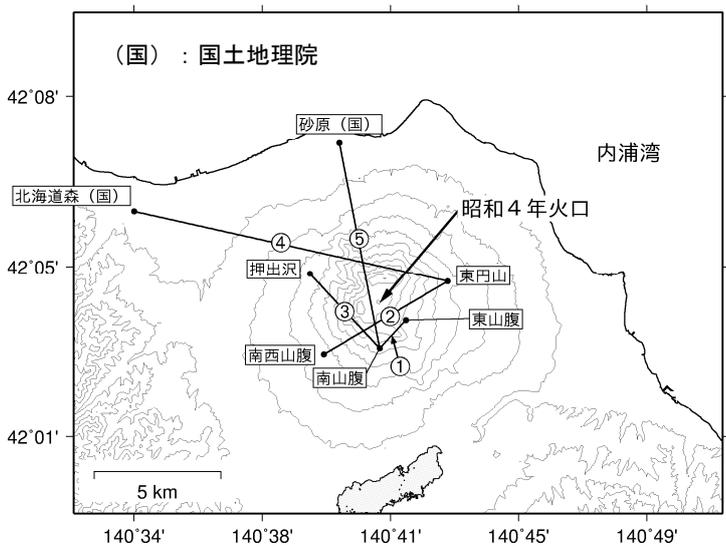
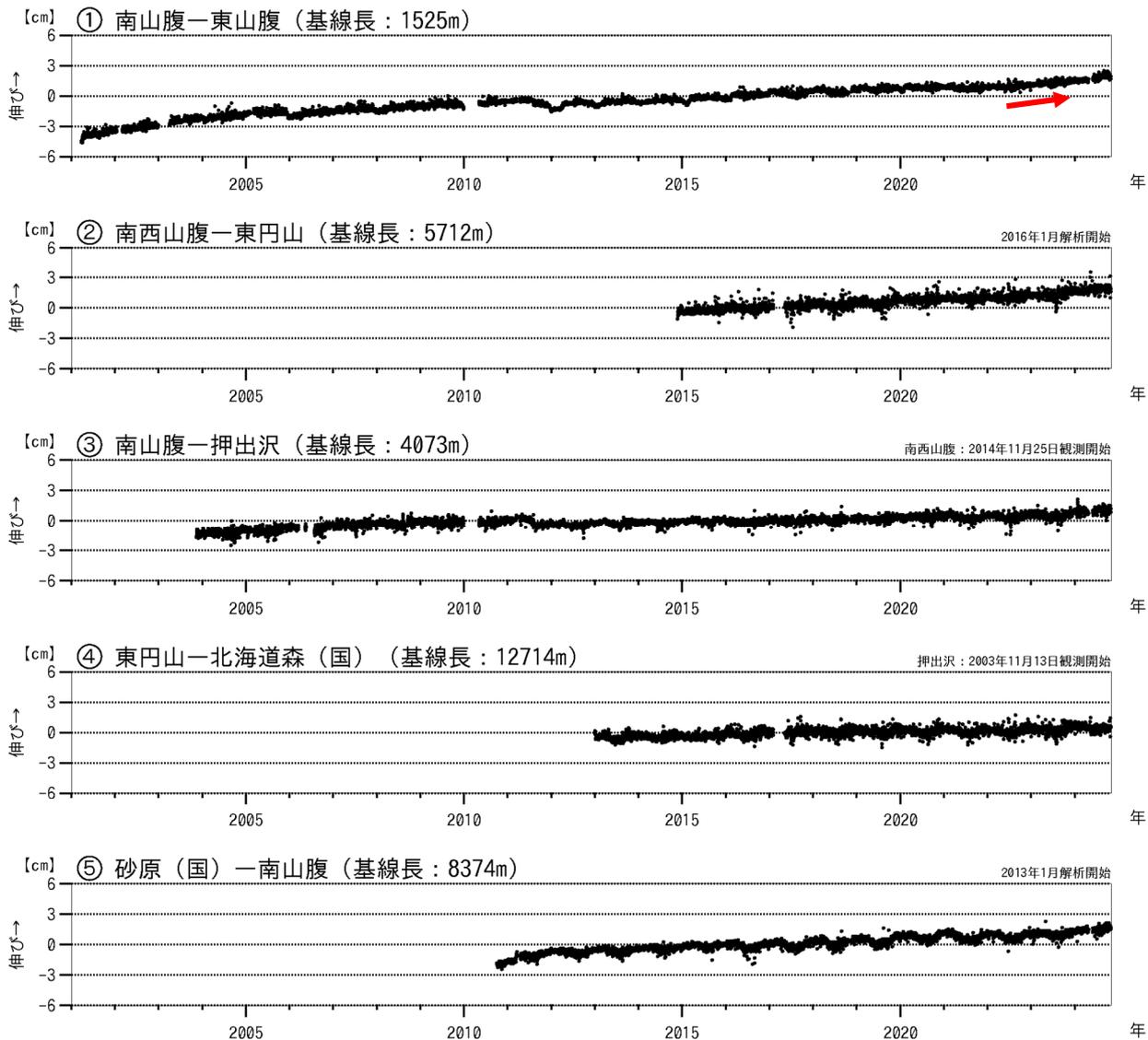


図10 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化(2001年4月～2024年10月)及び観測点配置図

グラフ①～⑤は観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。
 グラフの空白部分は欠測を示します。

- ・2022年頃から山頂部の一部基線でわずかな伸長(赤矢印)が見られていましたが、2024年1月頃からは概ね停滞しています。

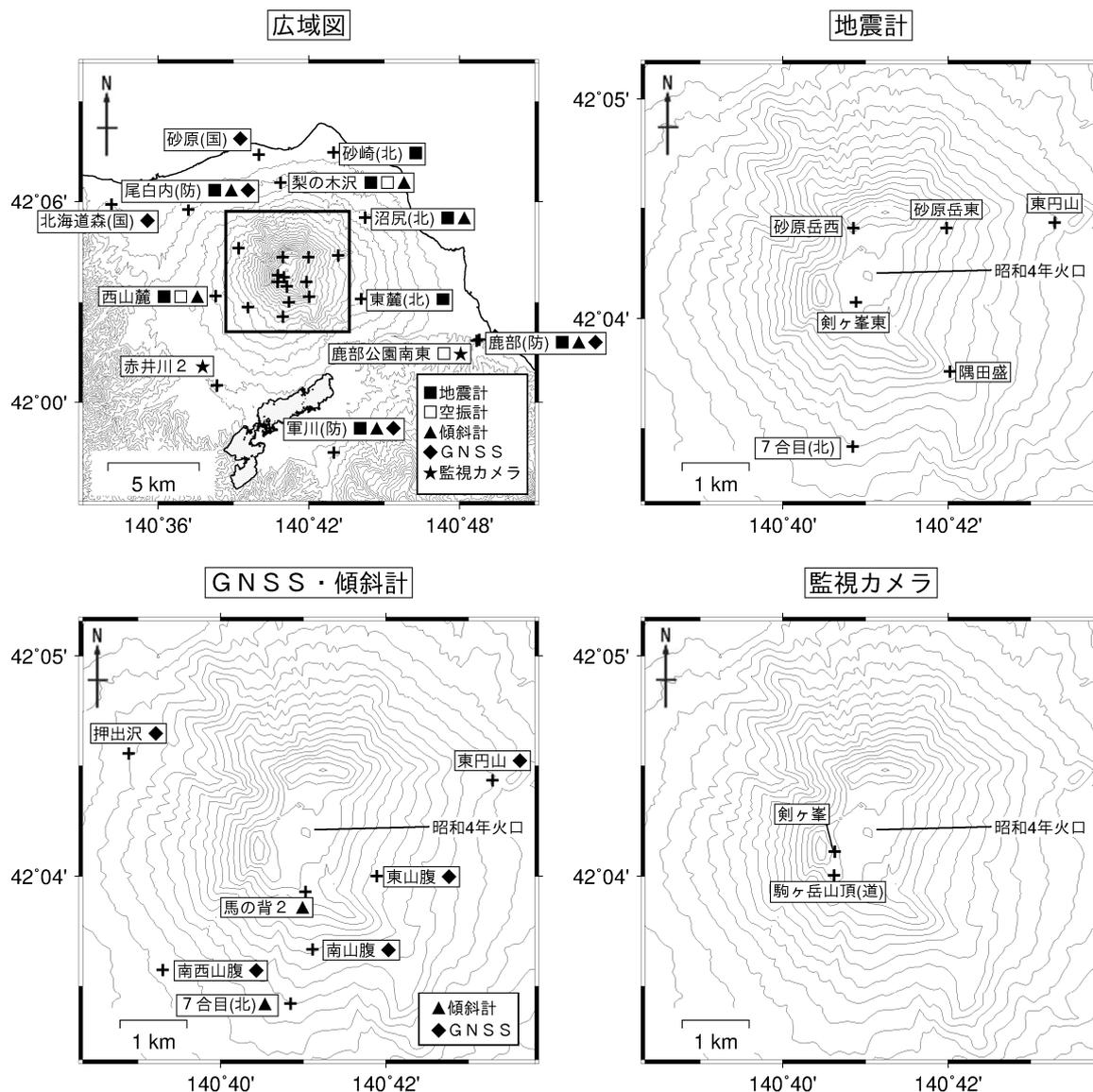


図11 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

各機器の配置図は、広域図内の太枠線で囲まれた領域を拡大したものです。+印は観測点の位置を示します。気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

- (国) : 国土地理院 (北) : 北海道大学 (道) : 北海道
- (防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所



図12 北海道駒ヶ岳 山頂火口原周辺図